



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ 上場取引所 東
コード番号 9439 URL <https://mhgroup.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 半澤 勝己
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員経営企画担当 (氏名) 家島 広行
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 TEL 03(5411)7222
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	965	△0.7	25	△45.0	28	△44.7	17	△47.5
2023年6月期第2四半期	972	2.7	47	90.6	51	75.0	34	82.6

(注)包括利益 2024年6月期第2四半期 19百万円 (△43.8%) 2023年6月期第2四半期 34百万円 (139.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	1.55	—
2023年6月期第2四半期	2.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	2,076	535	25.7
2023年6月期	1,841	516	27.9

(参考)自己資本 2024年6月期第2四半期 533百万円 2023年6月期 514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	0.00			
2024年6月期(予想)			—	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年 6月期の連結業績予想(2023年 7月 1日～2024年 6月30日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	5.1	65	19.3	65	15.4	40	66.6	3.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	11,492,100 株	2023年6月期	11,492,100 株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	48 株	2023年6月期	48 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	11,492,052 株	2023年6月期2Q	11,492,052 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限や水際対策の緩和が進み、さらに2023年5月には感染症法上の位置付けが5類へ移行され、社会経済活動も正常化へ向かったことで国内景気は持ち直しの動きとなりました。一方、長引くロシアウクライナ情勢に起因した資源価格の高騰、世界的なインフレ圧力などの世界経済の減速による下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、消費環境におきましては、外出機会の増加に伴い、個人消費に持ち直しの動きが続いているものの、物価上昇を背景とした節約志向の高まりも見られております。

当社グループが属する美容業界におきましては、サロンの来店客数は戻りつつある中で、コロナ禍での顧客ニーズの多様化などにより利用客の増加や顧客単価も上昇してきております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、お客様並びに従業員の安全確保を目的に、一定の感染防止策を継続し、既存事業においては経営効率の最適化を図り、安定したサービスの提供とともに、新たな収益の柱となる事業の創出に注力しております。

直営サロン運営事業、美容室支援事業及びキャリアデザイン事業は堅調に推移し、前年同期に比べ増収となったものの、BSサロン運営事業及びヘアメイク事業の減収を補うには至らず、全社としては前年同期に比べ減収となりました。営業損益及び経常損益につきましては、いずれも営業利益、経常利益となりましたが、前年同期に比べ売上原価が増加したこと、一時的な収益の減少に伴い、いずれも減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても営業利益及び経常利益の減益を受け前年同期に比べ減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高965,124千円（前年同期比0.7%減）、営業利益25,855千円（前年同期比45.0%減）、経常利益28,613千円（前年同期比44.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益17,854千円（前年同期比47.5%減）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

(直営サロン運営事業)

日本全国に展開するBSサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン10店舗（モッズ・ヘアサロン9店舗、美容室セラヴィ1店舗）を展開しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、社会経済活動が正常化へ向かう中で既存店の業績は前年同期に比べ回復基調で推移し増収となりました。また、年々、美容師の人材の流動が高まっており、この先のアフターコロナ時代の競争力を高めるうえでも優秀なスタッフの確保に向けた取り組みに係る費用が先行したものの、前連結会計年度末に閉店した店舗の統合効果も相まってセグメント利益は増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の直営サロン運営事業の業績は、売上高481,988千円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益39,516千円（前年同期比10.9%増）となりました。

(BSサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当第2四半期連結累計期間の店舗数の異動は、国内BSサロンの新規出店1店舗、中国での新規出店1店舗、台湾での新規出店1店舗、韓国での閉店2店舗となりました。当第2四半期連結会計期間末日現在におきまして、国内40店舗、韓国10店舗、台湾3店舗及び中国5店舗の計58店舗となっております。BSサロン運営事業においては、プライベートブランド（PB商品）をはじめとした商品販売に注力しており、PB商品売上は堅調に推移しているものの、前年同期に比べBSサロンの稼働店舗数が減少したことが影響し減収減益となりました。

当第2四半期連結累計期間のBSサロン運営事業の業績は、売上高128,715千円（前年同期比12.7%減）、セグメント利益52,294千円（前年同期比14.6%減）となりました。

(ヘアメイク事業)

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間2,000件を超える媒体を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。

ヘアメイク事業におきましては、スタジオ部門、メディア部門の業績は堅調に推移したものの、ブライダル部門の減収減益が大きく影響し、売上高184,955千円（前年同期比5.6%減）、セグメント利益3,474千円（前年同期比56.9%減）となりました。

（美容室支援事業）

当社グループでは、日本国内でのモッズ・ヘアサロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化したクレジット決済代行サービス、S C A T株式会社との提携による美容サロン向けPOSレジ顧客管理システムなどを一般のサロンに提供する美容室支援事業を行っております。また、美容室支援事業におきましては、先述しましたとおり、S C A T株式会社、ENECHANGE株式会社、提携各社の有するノウハウを活用し、理美容業界における持続可能な環境経営支援（SDGs）として環境配慮型メニューの開発並びに普及を進めております。

当第2四半期連結累計期間においては、美容室支援事業の主力であるクレジット決済代行サービスの契約件数は堅調に推移しており、売上高64,686千円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益37,819千円（前年同期比4.2%増）となりました。

（キャリアデザイン事業）

2020年7月より人材派遣事業、人材紹介事業を営む株式会社オンリー・ワンを連結子会社化いたしました。当社グループでは、単に人材派遣事業、人材紹介事業と捉えず、キャリアデザイン事業として新たな成長戦略の柱として位置付けております。

当第2四半期連結累計期間においては、キャリアデザイン事業につきましては、当社グループに加わったスケールメリットを活かした販路の拡大が順調に推移し、現在注力しているタワーマンションを中心としたコンシェルジュの派遣等も、着実に件数を伸ばしております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、人材派遣事業は着実に成長しているものの、収益率の高い人材紹介売上が前年同期と比べ減少したことから、売上高149,750千円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益9,014千円（前年同期比21.0%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ234,446千円増加し、2,076,385千円となりました。主な要因としましては、現金及び預金の増加1,327千円、売掛金の増加5,721千円、未収入金の増加236,844千円、のれんの減少7,709千円、ソフトウェア仮勘定の減少5,504千円などによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ214,906千円増加し、1,540,723千円となりました。主な要因としましては、未払金の増加266,428千円、資産除去債務の減少19,136千円、長期借入金の減少10,620千円、社債の減少7,000千円、株主優待引当金の減少7,708千円などによるものであります。

なお、資産科目の未収入金の増加236,844千円のうち266,644千円増加、負債科目の未払金の増加266,428千円のうち257,026千円増加は、美容室支援事業のクレジット決済代行サービスの取扱高の拡大によるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ19,540千円増加し、535,662千円となりました。主な要因としましては、親会社株主に帰属する四半期純利益17,854千円などによるものであります。

なお、当社は、2023年9月27日開催の第34回定時株主総会の決議に基づき、2023年11月10日付で減資の効力が発生し、資本金の額317,040千円を減少し、その他資本剰余金に振り替え、資本準備金の額17,040千円を減少し、その他資本剰余金に振り替えております。また、振替後のその他資本剰余金366,532千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填に充当しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が200,000千円、資本剰余金が69,697千円、利益剰余金が258,892千円となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,327千円増加し、607,870千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は15,271千円（前年同四半期は得られた資金54,585千円）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益28,613千円、減価償却費7,331千円、のれん償却額7,709千円、売上債権の増加額15,431千円、株主優待引当金の減少額7,708千円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は4,283千円（前年同四半期は得られた資金9,384千円）となりました。これは主に差入保証金の回収による収入10,012千円、関係会社株式の取得による支出3,173千円、有形固定資産の取得による支出2,555千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は18,176千円（前年同四半期は使用した資金22,347千円）となりました。これは社債の償還による支出7,000千円、長期借入金の返済による支出10,620千円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の連結業績予想につきましては、2023年8月18日に公表いたしました予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	606,542	607,870
受取手形及び売掛金	115,206	120,928
商品	65,525	65,900
未収入金	766,890	1,003,734
その他	19,465	23,300
貸倒引当金	△1,075	△931
流動資産合計	1,572,554	1,820,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	234,406	213,493
減価償却累計額	△197,629	△180,680
建物及び構築物（純額）	36,776	32,813
工具、器具及び備品	65,789	58,717
減価償却累計額	△54,918	△46,785
工具、器具及び備品（純額）	10,870	11,932
その他	5,431	5,037
減価償却累計額	△4,165	△4,654
その他（純額）	1,266	382
有形固定資産合計	48,914	45,127
無形固定資産		
のれん	55,580	47,870
ソフトウェア仮勘定	5,504	-
その他	1,358	5,616
無形固定資産合計	62,443	53,487
投資その他の資産		
投資有価証券	42,984	45,402
長期貸付金	32,208	32,208
関係会社株式	8,758	11,932
差入保証金	91,989	91,540
繰延税金資産	10,570	4,694
その他	7,472	7,282
貸倒引当金	△36,205	△36,155
投資その他の資産合計	157,778	156,905
固定資産合計	269,135	255,520
繰延資産		
社債発行費	248	62
繰延資産合計	248	62
資産合計	1,841,939	2,076,385

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,540	10,210
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	16,000	9,000
1年内返済予定の長期借入金	19,879	15,817
未払金	883,830	1,150,259
未払法人税等	11,735	9,427
未払消費税等	28,847	23,771
賞与引当金	2,181	-
株主優待引当金	17,093	9,384
契約負債	23,721	24,554
その他	45,439	44,244
流動負債合計	1,158,269	1,396,670
固定負債		
長期借入金	41,878	35,320
受入保証金	55,500	56,500
資産除去債務	26,325	7,188
退職給付に係る負債	1,785	1,853
役員退職慰労引当金	14,800	15,199
その他	27,258	27,991
固定負債合計	167,547	144,053
負債合計	1,325,816	1,540,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	517,040	200,000
資本剰余金	119,189	69,697
利益剰余金	△125,493	258,892
自己株式	△13	△13
株主資本合計	510,722	528,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,421	5,107
その他の包括利益累計額合計	3,421	5,107
新株予約権	1,978	1,978
純資産合計	516,122	535,662
負債純資産合計	1,841,939	2,076,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	972,334	965,124
売上原価	675,126	688,729
売上総利益	297,207	276,394
販売費及び一般管理費	250,168	250,539
営業利益	47,039	25,855
営業外収益		
受取配当金	340	382
受取利息	3	2
助成金収入	61	2,868
貸倒引当金戻入額	2,863	-
違約金収入	2,310	-
その他	865	733
営業外収益合計	6,442	3,987
営業外費用		
支払利息	1,153	930
社債発行費償却	186	186
為替差損	197	66
その他	213	44
営業外費用合計	1,750	1,228
経常利益	51,731	28,613
税金等調整前四半期純利益	51,731	28,613
法人税、住民税及び事業税	17,698	10,759
法人税等合計	17,698	10,759
四半期純利益	34,032	17,854
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,032	17,854

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	34,032	17,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	730	1,685
その他の包括利益合計	730	1,685
四半期包括利益	34,762	19,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,762	19,540
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	51,731	28,613
減価償却費	6,881	7,331
のれん償却額	7,709	7,709
助成金収入	△61	△2,868
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,734	△194
契約負債の増減額 (△は減少)	690	833
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△5,527	△7,708
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	799	399
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	342	67
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,136	△2,181
受取利息及び受取配当金	△343	△385
支払利息	1,153	930
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,541	△15,431
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,195	△374
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,354	670
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△408	△5,075
リース投資資産の増減額 (△は増加)	5,114	-
その他	24,775	△5,479
小計	74,994	6,856
利息及び配当金の受取額	343	385
利息の支払額	△1,138	△912
助成金の受取額	61	2,868
法人税等の支払額	△23,225	△11,550
法人税等の還付額	3,550	17,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,585	15,271
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	-	△3,173
有形固定資産の取得による支出	△313	△2,555
差入保証金の回収による収入	9,697	10,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,384	4,283
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△7,000	△7,000
長期借入金の返済による支出	△14,791	△10,620
リース債務の返済による支出	△555	△555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,347	△18,176
現金及び現金同等物に係る換算差額	△195	△51
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41,427	1,327
現金及び現金同等物の期首残高	571,734	606,542
現金及び現金同等物の四半期末残高	613,162	607,870

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2023年9月27日開催の第34回定時株主総会の決議に基づき、2023年11月10日付で減資の効力が発生し、資本金の額317,040千円を減少し、その他資本剰余金に振り替え、資本準備金の額17,040千円を減少し、その他資本剰余金に振り替えております。また、振替後のその他資本剰余金366,532千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填に充当しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が200,000千円、資本剰余金が69,697千円、利益剰余金が258,892千円となっております。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B S サロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリアデ ザイン事業	計		
売上高	478,072	147,498	195,900	60,586	136,204	1,018,262	△45,928	972,334
セグメント利益	35,628	61,256	8,069	36,279	11,407	152,639	△105,600	47,039

(注) 1. セグメント利益の調整額△105,600千円には、棚卸資産の調整額△246千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△105,354千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社の一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B S サロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリアデ ザイン事業	計		
売上高	481,988	128,715	184,955	64,686	149,750	1,010,095	△44,971	965,124
セグメント利益	39,516	52,294	3,474	37,819	9,014	142,119	△116,264	25,855

(注) 1. セグメント利益の調整額△116,264千円には、棚卸資産の調整額33千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△116,297千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社の一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。